

ライジングファーム経営概要 (そば事業)

設立目的

- ・ 継続・拡大経営が出来る農業者を育てる。
- ・ 増加する耕作放棄地の解消を果たす
- ・ 地域の中での役割を果たす。



高品質・多収を目指し生産力を向上
知識を身につけ、実践で経験と勘を養成

ライジングファーム株式会社

組織及び経営規模

第三者経営継承と
耕作放棄地解消で
拡大を目指す

- 2000年 数名のそば同好家が常陸秋そばの栽培を開始
2017年 栽培拡大の拡大を図り事業継承を目的に宮中そば研究会を発足
2018年 畜産・水稻農家の協力の元に自家製牛糞たい肥の生産を開始
2019年 にら生産農家の第三者経営継承を受けにら事業を開始
2020年 ライジングファーム株式会社を設立し「宮中そば研究会」の事業継承する。
2025年 再生の困難な放置された栗圃場等の再生により経営面積を拡大
二例目のにら農家の経営継承を受け、フランチャイズ事業を開始

社長

常務

そば事業

栽培面積 19.3ha

野菜事業

そばの裏作を活用し野菜栽培
ねぎ
ソラマメ
ほうれん草など

にら事業

ハウス 3ha
露地 3ha

圃場特徴

県内における位置

小美玉市は、茨城県のほぼ中央に位置し、県都の水戸市には北へ20kmの距離に、南西20kmの距離に筑波研究学園都市があり、南部には霞ヶ浦に接している。

地域の概況

小美玉市は、関東ローム層に覆われ、起伏も少なくほぼ平坦な地形となっている。当法人の生産拠点は、小美玉市の旧小川町に位置し、地勢は概して平坦な田園地帯が広がる常陸台地である。

栽培ほ場の特徴

耕作放棄地であったものを農地に戻して栽培しており、現在の栽培面積の8割を占めている。

地域の気象条件

気温は、夏に35℃以上の猛暑に、冬に-10℃以下になることもあるが、平年値（水戸）は8月の最高気温が30.0℃、1月の最低気温が-1.8℃で、年平均気温は14.1℃となっている。また、年間降水量は1367.7mm、年間日照時間は2000.8時間である。



年間栽培スケジュール

風雨に負けない圃場作り

付加価値
づくり

土壌分析

堆肥散布

プラウ

除草耕耘作業

周辺草刈り

プラソイラー

仕上耕耘

播種

中耕除草

収穫

乾燥

10a
当たり
1000kg
基準
(圃場毎に
土壌分析で
判断)

上下
耕作
層反
転(深
度25
cm)

雑草
防止
の為
に耕
耘3
回/
期間

圃場
周辺
の草
刈り
3回/
期間

2年
毎に
心土
破碎
(深
度
60cm)

10a
当たり
6kg
基準

生育状況観察(防除・追肥)

黒化率80%以下で収穫

40℃以下の低温乾燥

加工

磨き

石抜き

選別

脱皮

色彩選別

製粉

真空包装

販売は全て直販

玄そば 10%

丸抜き実 75%

製粉 15%

(管理ポイント)

・鮮度を落とすことなく

低温貯蔵

・農研機構開発の低温・

微細粒製粉機で製粉

自家製粉をするそば店は品質を重視する傾向がある為に積極開拓

製粉機メーカーと連携

気候変動に応じる栽培ポイント

土づくり

堆肥づくり：土壌分析により堆肥原料、配合率を変える。

(もみ殻、おがくず、米糠、鶏糞、牛糞、養生菌など)

堆肥散布時期：春より冬 (雑草、害虫の卵を抑えるため)

春先にプラウによる天地返し

プラソイラー実施期間：播種の1ヶ月前目安

(早いと排水効果が低下する)



栽培管理

播種時期：気候変動により最適時期も変わっていく

(台風、猛暑被害のリスクを分散するため分散播種)

中耕除草培土：草姿30cm前後、開花初期

(初期雑草抑え、倒伏防止効果高まる、生育状況で追肥)

防除：ヨトウムシ防除

(最適時期を逃がさず薬剤散布)

今後の課題

反収量を増加させる為の
栽培技術及び圃場条件を
整備

土壌改善、排水対策、倒伏対策
たい肥の散布量とタイミング
大雨による土壌流亡を防ぐ対策

冬春期に裏作として栽培
可能な作物の研究

遊休期活用と連作回避策
・・・ネギ、そら豆を導入
麦の栽培(高価な色彩選別が必要となる)

生産面積拡大に必要な
放棄農地の再生力を強化する
栗園放棄地が多く伐採、伐根、整地
排水改善、土づくり、地力アップ

更なる付加価値対策

「挽きたて打ちたて生そば」の販売
実験店、通販など販売手法の研究)

猛暑・豪雨・台風に負けない改善と高付加価値づくり

土壌分析結果

不足

過剰

2026/3/30

- ①収量の多い圃場と悪い圃場を比較する。
②PHは再度測定し6.5を目指す。
③苦土・石灰等は播種時同時施肥で不足を補う

C E C が低く塩基飽和度が高い異常な土壌

圃場名	反当り収量	CEC	腐植	塩基飽和度	pH (H ₂ O)	石灰飽和度	苦土飽和度	加里飽和度	可吸態リン酸	リン酸吸収係数	EC	硝酸態窒素	アンモニア態窒素
中郷	60	16.9	2.08	113.9%	8.04	91.7%	12.5%	9.7%	191	1072	0.07	1.0	0.5
立延	120	22.7	6.68	46.6%	6.55	33.5%	6.1%	7.1%	19	1404	0.07	1.1	0.6
適正值	100	25.0	3.00	80.0	6.50	50	20.0	10%	60	1200	0.10		
単位	kg	me/100g	%	%					mg/100g		ms/100g	mg/100g	mg/100g

長期的に堆肥を散布し腐植分の増加で土壌改良

低収益作物なので施肥にコストはかけられない。

分析:アイグリ土壤分析センター

〔 参考資料 〕

そば粉の食品成分表

肥料が行き渡りと黒化率
を上げてても緑も濃くなる
(私見)

作成 2019年10月31日

宮中そば研究会

〔 成分項目 〕	一般的なそば粉		宮中そば研究会そば粉(2018年)*		宮中そば研全粒粉(2019年)*	
	全粒粉	内層粉	ロール式製粉	全粒微細粉	常陸秋そば	レラノカオリ
	単位:/100g	単位:/100g	単位:/100g	単位:/100g	単位:/100g	単位:/100g
たんぱく質	12.0g	6.0g	12.0g	15.7g	14.3g	14.3g
アミノ酸組成によるたんぱく質	10.0g	—				
脂質	3.1g	1.6g			3.9g	3.9g
炭水化物	69.6g	77.6g			63.3g	63.5g
利用可能炭水化物(単糖当量)	70.2g	81.2g				
カリウム	410mg	190mg	415mg	486mg	441mg	469mg
カルシウム	17mg	10mg	25.9mg	13.2mg	14.9mg	14.4mg
マグネシウム	190mg	83mg	180mg	221mg	448mg	212mg
リン	400mg	130mg	371mg	460mg	398mg	426mg
鉄	2.8mg	1.7mg	2.1mg	3.21mg	2.98mg	2.83mg
亜鉛	2.4mg	0.9mg			2.81mg	2.42mg
ビタミンB6	0.30mg	0.20mg	0.417mg	0.542mg	0.543mg	0.600mg
ビタミンE(α-トコフェロール)	0.2mg	0.1mg	0.3mg	0.3mg	0.3mg	0.4mg
ビタミンE(γ-トコフェロール)	6.8mg	2.7mg	6.5mg	8.6mg	10.1mg	8.6mg
ビタミンE(δ-トコフェロール)	0.3mg	0.2mg	0.4mg	0.5mg	0.6mg	0.5mg
ルチン			11mg	13mg	15mg	12mg

堆肥散布は2017年から始める

*日本食品分析センターでの分析